

# 現職者共通研修

## 2025年度 南河内ブロック 事例検討・報告会

- ◆ 日時 : 2025年12月16日 (火) 19:15~20:45
- ◆ 開催方法 : ZoomによるWeb開催 (通信費は自己負担となります)
- ◆ 内容 : 事例検討  
事例報告  
参加<生涯教育ポイント2ポイント>
- ◆ 参加費 : 大阪府士会員 500円  
他府県士会員 1000円  
非会員 5500円  
※イベントペイにてお支払い下さい  
キャンセルポリシーは大阪府作業療法士会HPをご参照下さい
- ◆ 申込締切 : 事例検討・参加 … 12月12日 (金)  
事例報告 … 12月5日 (金)

### 事例検討・報告会にあたってのお願い

- ★前日までにZoomの情報をご案内させていただきます。事前にzoomアプリのインストールをお願いします。必要に応じて府士会ホームページ「Zoomを利用したWeb研修・会議の参加マニュアル」をご参照ください。
- ★当日は時間に余裕をもって入室をお願いします。  
画面上で出欠確認を行います。本名でログインしてください。  
一定時間離席された場合やビデオがオフの場合は途中退出とみなし、生涯教育のポイント付与ができませんのであらかじめご了承ください。
- ★研修の録画・録音は禁止とさせていただきます。
- ★研修中は参加者の皆様は「音声：ミュート」「ビデオ：ON」にしてください。

#### お申込みはこちら

下記URLまたは  
[https://eventpay.jp/event\\_info/?shop\\_code=6170239677598993&EventCode=P065803520](https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=6170239677598993&EventCode=P065803520)  
右のQRコードよりお申込みください



問合せ：藤原 光樹 (富田林病院)

fujikoukisan@gmail.com

## 事例報告について

### ◆ 応募に際して

- 報告する事例は報告者自身が担当し作業療法の評価・実践を行った1事例（シングルケース）としてください
- 発表同意書は不要ですが口頭での承諾・個人が特定できない等倫理的事項に十分配慮してください  
所属組織の規定にも準ずるようにしてください
- 事例報告を行う際はなるべく所属先の先輩等に依頼して相談・指導を受けるようにしてください  
ブロックでもバックアップいたしますので必要時にご相談ください

### ◆ 発表形式について

発表時間：10分

質疑応答時間：5分以上（演題数により調整させていただきます）

発表方法：パワーポイントを使用

スライド枚数は特に規定しませんが、発表時間に応じた枚数となるよう配慮下さい

### ◆ 報告書（抄録）について

一社）日本作業療法士協会「臨床実践報告書」もしくは関連学会演題登録応募内容を参考に作成してください

- ・ 臨床実践報告書

[https://www.jaot.or.jp/continuing\\_education/rinshoujissenhoukokusyo/](https://www.jaot.or.jp/continuing_education/rinshoujissenhoukokusyo/)

- ・ 関連学会演題登録応募内容

[https://www.jaot.or.jp/congress\\_steering/](https://www.jaot.or.jp/congress_steering/)

提出締切：12月8日（月）

提出先：[m-kawachiot@outlook.com](mailto:m-kawachiot@outlook.com)

書式：用紙サイズA4

内容：演題名・所属・氏名

本文	1 報告の目的	2 事例紹介
	3 作業療法評価	4 介入の基本方針
	5 作業療法実施計画	6 介入経過
	7 結果	8 考察

## 事例報告の記載内容例

※本例は必ずしも規定するものではありません。  
参考例としてご活用ください

**【報告の目的】** 事例報告の目的を述べてください。例えば、「機能障害あるいは遂行能力の改善に働きかけて効果がみられたので、その介入方法を報告する・・・」、「作業活動をする経験が対象者の生活に意味ある変化をもたらしたので、その経過を報告する・・・」、「環境調整によって社会参加の機会が増したので、その方法を紹介する・・・」などです。報告の目的にそって論点を絞り、介入が長期にわたる事例の場合はある一定期間に限定して報告する、種々の問題に介入した場合は標的問題を中心に報告する、などの工夫をしてください。

**【事例紹介】** 年齢、疾患名、既往歴、現病歴、作業療法の対象となるまでの経緯、社会的背景など、本事例の作業療法方針に関連する個人因子と環境因子について述べてください。

**【作業療法評価】** 対象者の標的問題を中心とした評価（問題点、潜在能力、経過予測）を述べ、介入前の障害像、特に報告の目的に関わる主要な問題点を呈示してください。観察評価を中心におこなった場合には、観察の視点、観察された事実情報を具体的に記述してください。

**【介入の基本方針】** 作業療法介入の基本方針について、目標あるいは目的達成のために、どのような方針で作業療法を進めたのかを具体的に述べてください。いくつかの基本方針を順次進める場合と、同時進行させる場合とがありますが、いずれも基本方針が複数にわたる場合にはわかりやすい記述に努めてください。介入にあたり作業療法の実践モデルがある場合には、モデルや理論の名称を記載してください。

**【作業療法実施計画】** 作業活動（実施課題）、実施形態（個別、集団、訪問など）、実施頻度（1回時間、週あたり回数など）、実施期間など、作業療法士が「何を手段として」「どのように」関わったのかがわかるように記述してください。また、作業療法に用いた作業活動（課題）の選択理由、利用・活用方法、指導・援助の方法など、目的達成のためにどのような意図をもって作業療法を実施したのかがわかるように述べてください。

**【介入経過】** ここで必要な内容は「どのような経過」をたどったのか、ということです。経過が長い、あるいは介入項目が多い場合は、期間をいくつかの「期」に分け、介入項目ごとに整理するなどして聴講者に伝わりやすい表現を工夫してください。対象者に変化を与えたと思われる主要な介入方法は詳細に述べ、聴講者が追試を試みようとするときに役立つ情報を提供してください。プログラムの変更があった場合にはその理由を述べ、予期せぬ変化等についても記述してください。

**【結果】** 介入によって得られた評価指標（数値）の変化、あるいは作業療法の介入によって生じた対象者の生活（行動）上の変化などを具体的に記述してください。

**【考察】** 「結果」で述べた対象者の変化に関する解釈を記述してください。作業療法介入は対象者の標的問題にどのような変化（効果）をもたらしたのか、あるいはもたらさなかったのか、そしてそれらはどのような理由に依るものか等を、利用した評価指標の変化との関連から考察してください。そして、今回実践した作業療法は、対象者の生活にどのような変化をもたらしたのか、対象者にとっての意味や価値という視点、活動や参加、生活の質といった視点についても可能な限り考察してください。